

令和7年度 指定管理施設の管理運営に関する月次評価について

施設所管課名：福祉こども部子育て支援課

1 施設概要

施設名称	中央こども園病児・病後児保育センター
指定管理者名	ル・アンジェ株式会社
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日（5年間）

2 月次評価

評価月	評価
4月	<p>1. 成人・小児・乳児への心肺蘇生法やAED取扱いなど、実技中心の上級救命講習会を受講し、緊急対応力の向上に努めていることを確認した。また、小児看護のスキルアップ研修や、法人内の保育士向け月1回の研修・ミーティングも実施し、職員の知識・技術向上が図られていることを確認した。特に4月は、病児保育や感染症の流行について研修を実施していた。</p> <p>また、避難所ボランティアの登録申込や、リサイクル図書への参加、リサイクルボックスの設置検討、絵本の時間など市主催イベントのポスター掲示など、地域活動、環境対策、市イベントの周知などにも積極的に取り組んでおり、人権セミナーや各種研修・講義にも保育業務に支障のない範囲で参加している。毎月25日には避難訓練も実施し、防災への取り組みも適切であることを確認した。</p> <p>2. 4月の利用実績</p> <ul style="list-style-type: none">・利用者 病児 延べ22人 病後児 延べ3人・キャンセル待ち中利用できなかった数 病児 延べ0人 病後児 延べ0人 <p>4月の利用</p> <p>4月の利用者は延べ25人と、前月までと大きな変化はみられない。インフルエンザの利用者は1人に減少し、主に風邪や気管支炎、上気道炎による利用が多い状況。百日咳が流行しているが、利用者数には大きな影響は見られない。</p>
5月	1. 5月28日には、中央こども園病児・病後児保育センターで防犯訓練（不審者対応訓練）を職員4人と病児2人（保護者了承済み）で実施したとの報告あり。来月は、すぐくかん施設全体で地震・津波警報を想定

	<p>した垂直避難訓練も予定されていることから、避難訓練の取り組みも適正に行われていることを確認した。</p> <p>また、防災シャッターのある調理室は周りに物が置かれておらず、整理整頓されていることを確認した。安全面・清潔面から社会福祉協議会による布おもちゃ・布絵本の貸出を活用しており、一週間ごとに入れ替え、利用者に好評とのこと。貸出の周知のため、施設入口にも布絵本や布おもちゃを飾っていた。さらに、児童図書館からのリサイクル図書も活用し、小学生向けの本を増やしたこと。以上のことから、適切に管理されていることを確認した。</p> <p>2. 5月の利用実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者 病児 延べ 21 人 病後児 延べ 2 人 ・キャンセル待ち中利用できなかった数 病児 延べ 2 人 病後児 延べ 0 人 <p>5月の利用</p> <p>5月の利用者数は延べ 23 人で、ゴールデンウィーク期間中は利用者が比較的少なかったため、先月と比べ利用者数は 2 人減少した。また、昨年度の 5月 (27 人) と比べても 4 人少ない結果となった。利用理由としては、主に気管支炎や上気道炎、胃腸炎が多かったが、おたふくかぜによる利用者もみられた。</p>
6月	<p>1. 6月 27 日に現地確認を行い、職員の安全管理については、食中毒や感染症予防のため毎月検便を実施しているほか、ストレスチェックや健康診断も毎年 1 回実施しており、受診率向上に向けて法人全体で衛生委員会を設置し、周知や対応方法の検討を行っていることから、適切に管理されていることを確認した。</p> <p>また、災害対策については、すくすくかん内の事業者が集まり地震や津波を想定した避難訓練を実施しているほか、自主防災指導員育成講習会に参加し、座学や実技、図上訓練など幅広い防災研修を受けたとの報告あり。さらに、避難所ボランティアの事前登録も行うなど、災害時の体制強化に努めていることも確認した。</p> <p>2. 6月の利用実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者 病児 延べ 16 人 病後児 延べ 1 人 ・キャンセル待ち中利用できなかった数 病児 延べ 1 人 病後児 延べ 1 人 <p>6月の利用</p> <p>6月の利用者は延べ 17 人で、4月 (25 人)、5月 (23 人) と比べて少なく、昨年 6月 (32 人) と比べても減少した。例年この時期は RS ウイ</p>

	<p>ルスの利用者が増え始める時期だが、今年はまだ RS ウィルスの診断はみられない。主な利用理由は上気道炎や咽頭炎で、水疱瘡と診断されたお子さんの利用もみられた。</p> <p>また、今月は新規利用者からの問い合わせや登録が今年度の中で比較的多かったとの報告あり。今後も利用状況の推移を注視しつつ、引き続き利用者増加に向けた周知に努める。</p>
7月	<p>1. 7月 30 日に現地確認を行い、こども一人ひとりの健康・生活状況に合わせて安全な保育が行われていることを確認した。特に、食事や薬の時間、要冷蔵薬の有無といった個別の注意事項については、個室入口のホワイトボードに記載し、磁石で重要事項を明示するなど、情報共有が徹底されていた。また、保育を担当する職員が目を離せない場合でも、他の職員が連携して食事や薬の準備を行うなど、事故防止への配慮も見られ、適切に業務が遂行されていた。加えて、市の「おもちゃリユースプロジェクト」に協力し、入口に回収ボックスを設置していることや、中央こども園の回収ボックス利用についても確認済みで、地域資源循環に積極的に貢献していた。さらに、「よこすか・みうら AED ステーション表彰交付章」および AED ステッカーを病児専用入口に掲示し、市民への周知を図っていたことも報告があった。以上のことから、利用者の安全確保および情報発信、地域連携に積極的に取り組んでいることを確認した。</p> <p>2. 7月の利用実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者 病児 延べ 15 人 病後児 延べ 4 人 ・キャンセル待ち中利用できなかった数 病児 延べ 1 人 病後児 延べ 0 人 <p>7月の利用</p> <p>7月の延べ利用者数は、病児が 15 人、病後児が 4 人であった。利用者数は全体的に落ち着いており、特に上旬から下旬にかけて連休があったこともあり、利用が比較的少なかった。この時期に例年多くみられる RS ウィルスによる利用者はおらず、利用の主な理由は、上気道炎、胃腸炎、気管支炎などであった。過去 3 か月と比較すると、4 月は病児 22 人・病後児 3 人、5 月は病児 21 人・病後児 2 人、6 月は病児 16 人・病後児 1 人と推移しており、年間を通じて落ち着いた状況である。今後も利用状況の動向を注視し、引き続き利用者増加に向けた周知に努めていく。</p>
8月	<p>1. 8月 29 日に現地確認を行い、指定管理者から運営状況を聴取し、協定書に基づいた運営が行われていることを確認した。</p> <p>センターでは、法人が作成した「ル・アンジェ保育園 安全・衛生強化</p>

	<p>月間「台風・集中豪雨・津波などの風水害に備えて8・9月自園の防災・避難計画を再確認しよう」の掲示を行い、最近発令された津波警報の際、実際に上層階に病児を避難させた経験から、避難時の課題や改善点について確認し、通常業務マニュアルに加え、避難マニュアルの見直しも進めているとの報告があった。</p> <p>また、今月は「とびひ」「あせも」「熱中症」について法人内研修を実施し、職員の感染症や健康管理に関するスキル向上にも努めていた。以上のことから、協定書に基づき、安全管理、防災対策、衛生管理などの面からも適切な運営が行われていることを確認した。</p> <p>2. 8月の利用実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者 病児 延べ17人 病後児 延べ1人 ・キャンセル待ち中利用できなかつた数 病児 延べ1人 病後児 延べ0人 <p>8月の利用</p> <p>8月の延べ利用者数は18人（病児17人、病後児1人）であった。毎年この時期は夏休みやお盆が重なるため、利用者が少ない傾向となっている。新規の利用者も時折見られ、市民からの問い合わせもあるが、全体として大きな変化はなかった。昨年8月の利用者実績（病児延べ15人、病後児1人）とほぼ同水準で推移している。主な診断は咽頭炎や上気道炎が多く、急性扁桃炎とアデノウィルス感染症による利用も各1人みられた。今後も引き続き、利用動向を注視していく。</p>
9月	<p>1. 9月29日に現地調査を実施し、指定管理者から運営状況について聴取した。すくすくかん内事業者全体で実施した「すくすくかん防災訓練（広域避難）」には、当センター利用の病児（2歳児）も職員3名とともに参加しており、避難訓練の実施記録も作成・職員間で共有されていた。また、9月はル・アンジェ株式会社主催の研修（インフルエンザ・溶連菌、清潔について）に2回参加しているとの報告があった。なお、9月は大きなクレーム等はなく適切に管理されていた。加えて、利用中のお子さんが発作（てんかん）を起こした際、速やかに総合医療センターへ救急搬送し、保護者とも迅速に連絡・対応できていたとの報告があり、適切な運営が行われていることを確認した。</p> <p>2. 9月の利用実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者 病児 延べ14人 病後児 延べ1人 ・キャンセル待ち中利用できなかつた数 病児 延べ0人 病後児 延べ0人

	<p>9月の利用</p> <p>延べ利用者数は 15 人（病児 14 人、病後児 1 人）で、前月よりやや減少した。主な疾患は上気道炎、気管支炎、咽頭炎、胃腸炎であった。今月は問い合わせは少なかったものの、新規利用者も一定数みられた。令和 7 年度はこれまで各月とも病児の利用が多い傾向が続いている。今後も利用状況を注視していきたい。</p>
10 月	<p>1. 10 月 28 日に現地確認を行い、指定管理者から運営状況を聴取した。協定書に基づき、適正な運営が行われていることを確認した。</p> <p>今月は、障がい者就労施設の「ともしびショップ」で職員全員がピンクシャツを購入し、センターでもピンクシャツ運動を実施していた。</p> <p>また、利用者のいない日には清掃だけでなく、法人主催のスキルアップ研修や病気に関する勉強会（今回は乳幼児突然死症候群や目の疾患など）も定期的に行い、職員の専門性向上と安全な保育環境づくりに努めている。今月は新たに 1 名の職員が採用され、積極的に研修を受講しているとの報告あり。</p> <p>さらに、クリーンよこすか市民の会・横須賀市主催のごみ拾いイベントにも参加し、海洋プラスチック問題についての学びや実体験を通じて、地域活動にも意欲的に取り組んでいた。</p> <p>これらの取り組みから、当センターが安全で開かれた施設運営、保育の質の向上、地域社会との連携に積極的に取り組んでいることを確認した。</p> <p>2. 10 月の利用実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者 病児 延べ 20 人 病後児 延べ 1 人 ・キャンセル待ち中利用できなかった数 病児 延べ 3 人 病後児 延べ 0 人 <p>10 月の利用</p> <p>10 月の延べ利用者数は 21 人（病児 20 人、病後児 1 人）で、問い合わせは週 2 ~ 3 回ほど、新規利用者は多少増加したとの報告あり。また、延べ利用日数も前月を多少上回った。主な疾患は上気道炎、気管支炎で、ヘルパンギーナ、水痘などもみられた。世間ではインフルエンザ流行や学級閉鎖のニュースもみられるが、当センターではインフルエンザによる利用はまだみられない。今後も引き続き利用状況や感染症の動向に注意していく。</p>
11 月	<p>1. 11 月 27 日に現地確認を行い、指定管理者から運営状況を聴取した。</p> <p>安全管理の面では、市主催の窒息事故防止訓練や、地域の自主防災組織と連携した避難所運営訓練（避難所開設やけが人対応、炊き出し、トイレ</p>

	<p>準備等を含む）に職員が参加し、その内容をセンター内で全体共有しているとの報告があった。また、病児・病後児それぞれの入口にはクリスマスの飾り付けが施されており、季節感を演出した温かみのある雰囲気となっていた。これらの取組により、協定書に基づく安全管理、災害対応訓練、季節感の配慮など、幅広い視点で適切に運営が行われていることを確認した。</p> <p>事務運営の面については、「使用料の収納事務委託契約書」に基づき、「使用料の収納事務処理要領」に従い収納業務の実施を確認したが、今月は領取済通知書（センター控えは領収書）の番号に重複や順不同が散見された。また、納入業務は主に1名の職員が担当されており、担当者不在時には納入が翌日となり、センターで一時的に現金を保管する状況があることも現場で把握した。このため、今後は納入業務や領収書処理においてダブルチェックなど複数人による確認体制をつくり、スタッフ間で業務を分担するなど、再発防止および安全管理の更なる徹底、体制強化にご配慮いただくようお願いした。</p> <p>2. 11月の利用実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者 病児 延べ27人 病後児 延べ0人 ・キャンセル待ち中利用できなかった数 病児 延べ6人 病後児 延べ0人 <p>11月の利用</p> <p>10月までは、インフルエンザによる利用者はいなかったが、今月はインフルエンザ感染による利用が全体の大半を占める状況となっている。インフルエンザの流行により、予約が集中し、キャンセル待ちとなる日が多くなってきた。このほかにも、気管支炎、上気道炎、胃腸炎、腹痛などによる利用も一部見られるが、現在はインフルエンザ関連の利用が中心となっている。今後もインフルエンザをはじめとする感染症の流行状況や、利用・キャンセルの動向について注視していく</p>
12月	<p>1. 12月26日（金）に現地確認を行い、指定管理者から運営状況を聴取するとともに、協定書・仕様書に基づいた運営が行われていることを確認した。感染予防リーダー育成研修（感染管理認定看護師を講師とする教育プログラム）へ参加し、感染症の基本知識、標準予防策（手指衛生・個人防護具の使用）、洗浄・消毒・清掃、感染性廃棄物の処理、感染経路別予防策、アウトブレイク発生時の対応等について、動画および対面で学習しており、手指衛生、おむつ交換、吐物処理、ゾーニングシミュレーション、PPEの着脱などの実技演習も実施。感染対策の知識・技術の</p>

	<p>底上げに向けた取組が進められていることを確認した。</p> <p>また、市民からの大きなクレームや要望、運営上特段困った事案は発生していない旨の報告を受けた。</p> <p>なお、センターで作成している感染対策マニュアルについては、今回の研修で得た知見を踏まえ、内容の見直し・更新を行うよう依頼した。</p> <p>2. 12月の利用実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者 病児 延べ 41人 病後児 延べ 1人 ・キャンセル待ち中利用できなかった数 病児 延べ 3人 病後児 延べ 0人 <p>12月の利用</p> <p>12月の延べ利用者数は41人で、前月（11月：27人）と比べて増加した。主な利用理由は、インフルエンザ及び上気道炎が圧倒的に多く、このほか水痘、溶連菌性感染症、気管支炎、扁桃炎等による利用も少數みられた。年齢別では、これまで1～3歳児の利用が中心であったが、12月はインフルエンザ流行の影響もあり、就学前児から小学生の利用が多くみられた。</p> <p>4月以降の実利用人数および延べ利用人数は、概ね一定の範囲で推移していたが12月は感染症流行により利用が増加している。なお、利用者数は増加したものの、問い合わせ件数については大きな増減はなく、例月と同程度であった。</p>
1月	
2月	
3月	